

スターチス・シヌアータ栄養系品種「アイスター」  
 (「ロージーピンク」・「ライラック」・「ライラックブルー」・「ラベンダー」・「モーブ」)

岩手県のスターチス・シヌアータの生産は、花きの重点品目として推進されているが、種子系品種が多く栽培されているため、形質の揃った高品質栄養系品種の開発が急務となっていた。

スターチス・シヌアータ「アイスター」(「ロージーピンク」「ライラック」「ライラックブルー」「ラベンダー」「モーブ」の5品種)は、繁殖方法が栄養系であることから各形質が揃う極早生の切り花向きの品種であり、抑制作型等の各作型への適応性が高い。

表1 品種特性(春品質、平成10年)

品種	草丈 (cm)	茎の 翼 <sup>1)</sup>	がくの直径		がくの色 <sup>2)</sup>		花穂長 (cm)	小花数 (個)
			直径 (mm)	長さ (mm)	中下部	先端部		
ロージーピンク	78.0	中	7.0	14.4	明赤紫	明赤紫	7.4	138
ライラック	70.9	小	4.8	12.4	浅紫	浅紫	6.6	250
ライラックブルー	75.3	中	9.2	13.8	浅紫	浅紫	8.0	131
ラベンダー	71.6	小	7.8	12.8	浅紫	明青味紫	6.5	172
モーブ	62.7	中	6.4	12.8	鮮赤紫	鮮赤紫	4.6	127

注 1) 茎の翼：開花時の大きさ(無、小、中、大)。

2) がくの色：日本園芸植物標準色票による。



写真1 「ロージーピンク」



写真2 「ライラック」



写真3 「ライラックブルー」

「ロージーピンク」：草丈は80cm程度、がく(以下鑑賞部位)の色は明赤紫で、がくの直径は大きく長い。

「ライラック」：草丈は70cm程度になり、がくの色は浅紫で直径はやや小さめ、小花数が多い。

「ライラックブルー」：草丈は75cm程度になり、がくの色は浅紫で直径は大きい。



写真4 「ラベンダー」



写真5 「モーブ」

「ラベンダー」：草丈は70cm程度になり、茎の翼は小さく丸茎に近い形状をしており、がくの色は浅紫、先端部は明青味紫である。

「モーブ」：草丈は60~70cm程度になり草勢はやや強い。がくの色は鮮赤紫、花穂長が中程度である。